

2023年度（令和5年度）
東北大学大学院文学研究科博士課程
前期2年の課程 学生募集要項
（春期試験）

一 般 選 抜

本募集要項は、2022年（令和4年）10月1日現在で作成しています。

ただし、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が日々刻々と変化している状況の中、今後、本募集要項の掲載内容に変更が生じる可能性もあります。掲載内容に変更が生じた際は、本研究科ウェブサイトですぐお知らせします。

東北大学文学部・文学研究科ウェブサイト <https://www.sal.tohoku.ac.jp/>

2022 年 10 月
東北大学大学院文学研究科

志願者の皆さんへ

アドミッション・ポリシー

東北大学大学院文学研究科は、人文社会科学に関する高度な専門的知識を有し、幅広く柔軟な視点に立って、根源的で深遠な思考を重ね、現代社会が直面する諸問題の解決を可能にする優れた研究者、教養ある専門職業人および高度な専門性を具えた職業人の育成を目指し、学生を募集します。

具体的には、社会の機構、変移に関する広範な展望と人間性への深い洞察に根ざした人文社会科学の専門的知識と技能をもって、人類社会の本質的な発展に寄与しうる人、さらには、人文社会科学の新たな進展のために最先端で活躍しうる研究者を志す人を求めます。

このため、学生の受け入れにあたっては、一般選抜及び社会人特別選抜の枠を設けて入学試験を実施する中で、上記の教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているかどうかを重視した選抜を行います。

選抜試験では、一般選抜試験・社会人特別選抜試験ともに、人類社会の本質的な発展に寄与する教養ある専門職業人と、人文社会科学の新たな進展をもたらす研究者を養成するために、日本学専攻においては日本の言語・思想・文化・歴史・社会に関連するテーマの考究に対して、広域文化学専攻においては文化の基礎理論あるいはアジア・欧米地域の個別文化の考究に対して、総合人間学専攻においては人間と社会の本質にかかわる原理的かつ実証的な考究に対して、それぞれ強い関心と意欲を持ち、専門的教育を受けるのに必要な基礎的知識及び学力を有し、問題発見能力と論理的思考力に秀でた人を、学生として受け入れます。

このような方針のもと、本課程の入学試験では、筆記試験及び面接試験により、専門に関する知識と学力に主眼を置き、外国語能力、研究に取り組む積極性や発信能力等も評価に加えて選抜を行います。それまでの研究成果(論文等)は、面接試験の基礎資料にする形で選抜に生かします。なお、社会人特別選抜試験では、外国語の文章を読み解く能力ではなく、古文や史料(資料)等を読み解く能力を評価する専攻分野もあります。

また、入学前に、文化・学芸にかかわる広範な知識を習得するとともに、自身が推進する専門の研究の対象・目的・方法に関係する多くの読書経験・調査経験・思考経験を積み重ねておくことを希望します。

※ 本研究科で所定の科目・単位を取得すると、以下のような免許、資格が得られます。

○ 教育職員免許状

中学校教諭専修免許状(国語, 社会, 英語, 宗教)

高等学校教諭専修免許状(国語, 地理歴史, 公民, 英語, フランス語, 宗教)

○ 専門社会調査士及び社会調査士

○ 学芸員

○ スピリチュアルケア師(審査受験資格が得られます)

○ 認証アーキビスト(資格申請に必要な知識・技能等を修得したと見なされます)

1 募集専攻（専攻分野）及び募集人員

専攻	専攻分野	募集人員
日本学	現代日本学，日本思想史，日本語学，日本語教育学，日本文学，日本史，考古学，文化財科学	89名
広域文化学	文化人類学，宗教学，死生学・実践宗教学，インド学仏教史，中国語学中国文学，中国思想中国哲学，東洋史，英文学，英語学，ドイツ語学ドイツ文学，フランス語学フランス文学，西洋史	
総合人間学	哲学，倫理学，東洋・日本美術史，美学・西洋美術史，心理学，言語学，社会学，行動科学，計算人文社会学	

注1 秋期試験及び春期試験を合わせた募集人員は，一般選抜及び社会人特別選抜を含めて 89 名です。

注2 専攻分野の研究教育内容については，巻末の＜教員一覧及び研究テーマ＞を参照してください。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び 2023 年3月までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び 2023 年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2023 年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2023 年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2023 年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2023 年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2023 年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第5号参照）
- (9) 大学に3年以上在学した者，外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者，外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で，本大学院において，所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

- (10) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 102 条第 2 項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本大学院においてその教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (11) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023 年 3 月末日までに 22 歳に達するもの
- (備考) 出願資格(9)のうち「大学に3年以上在学した者」に関する出願資格については、本年度は適用しません。
- * 出願資格(6), (9), (10) 又は(11)によって出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、あらかじめ文学部・文学研究科教務係にお問い合わせのうえ、本研究科が指定する書類を 2022 年 11 月 30 日(水)までに提出してください。
- * 外国人留学生は、事前に出願資格等を文学部・文学研究科教務係にお問い合わせください。

3 出願手続

(1) 出願期間

2023 年 1 月 5 日(木)から 1 月 11 日(水)までとします。出願書類は郵送してください。

※検定料は、1 月 10 日(火)までに納入してください。

郵送方法 封筒の表に「文学研究科博士課程前期2年の課程(一般選抜)入学願書在中」と朱書し、書留郵便やレターパック等、必ず配達記録の残る方法で送付してください。1 月 12 日(木)以降に到着した場合には、1 月 10 日(火)までの消印のあるものを受け付けます。

受付場所(郵送先):

東北大学文学部・文学研究科教務係 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27 番 1 号

(2) 出願書類

入学願書等の所定様式は、文学部・文学研究科ウェブサイト(アドレスは以下のとおり)からダウンロードし、A4判用紙に片面印刷のうえご使用ください。(https://www.sal.tohoku.ac.jp/jp/admissions/grad/)

注 他大学に在学している国費外国人留学生は、当該大学の発行する国費外国人留学生であることの証明書を提出してください。

出 願 書 類 等	摘 要
入学願書・履歴書, 写真票・受験票	所定様式(A4判用紙に片面印刷し、提出してください。)
写真2枚	正面上半身無帽のもの(縦 4.5×横 3.5cm)を入学願書等の指定の場所に貼ってください。写真の加工は認めません。
成績証明書	・出身大学(学部)長が作成し、厳封したもの。 ・本学部の卒業者・卒業予定者で、志望する専攻分野の研究室が卒業時の専修と同じ場合は、提出不要。
卒業(見込)証明書又は大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書	・本学部の卒業者・卒業予定者は、提出不要。 ・出願資格(2)に該当し 2023 年 3 月までに学士の学位を授与される見込みの者は、短期大学長又は高等専門学校長の学位授与申請(予定)証明書を提出してください。
志望専攻分野に関する卒業論文又は小論文	・該当する卒業論文がない場合は、志望専攻分野に関する小論文(テーマ等は別表のとおり)を提出してください。 ・志望専攻分野に関する卒業論文があっても、卒業後の時間の経過の中で、研究を新たに発展させたり、新たなテーマの研究に取り組んだりしている

	場合は、卒業論文とともに、小論文(テーマ等は別表のとおり)を提出することができます。 ・本学部の卒業予定者で、志望する専攻分野の研究室が卒業時の専修と同じ場合は、提出不要。
卒業論文要旨(4,000 字程度)	上記で小論文を提出する者以外は、必ず提出してください。
検定料	※検定料は、ATM(金融機関、コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用の上、下記のとおり納入してください。 なお、領収書または振込明細書(納付したことがわかるもの)のコピーを提出してください。 ＜金額及び振込先口座等＞ 金 額 30,000 円 振込期間 1月5日(木)から1月10日(火)まで 銀行名 三菱 UFJ 銀行(金融機関コード 0005) 支店名 わかたけ支店(支店コード 809) 預金種別 普通 口座番号 2259001 口座名義 国立大学法人東北大学 カ ナ ダイ)トウホクダイガク ＜お振込みに関する注意事項＞ ※振込手数料は、送金人にてご負担ください。 ※振込依頼人名の欄には、必ず「LMC 氏名カナ」をご入力ください。 →記入例:東北太郎さんの場合、LMC トウホク タロウ とご入力ください。 ・なお、既納の検定料は返還しません。 ・国費外国人留学生は、納入不要。 ・本学では、2022 年度に発生した風水害等の災害による被災者の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、2022 年度に本学が実施する入学試験において、入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は別紙「風水害等の災害により被災した東北大学入学志願者等の 2022 年度における入学検定料の免除について」を参照してください。 ・海外在住の方は、クレジット決済で検定料を納付することも可能です。事前に東北大学文学部・文学研究科教務係までご連絡ください。
志願者登録シート	所定様式(A4判用紙に片面印刷し、提出してください。)
受験票送付用封筒	市販の長形3号(23.5×12cm)に志願者の住所・氏名・郵便番号を明記のうえ、344 円分の切手を貼ったもの。
合格通知用封筒	市販の角形2号(33.2×24cm)に志願者の住所・氏名・郵便番号を明記のうえ、400 円分の切手を貼ったもの。
あて名シート	所定様式(A4判用紙に片面印刷し、提出してください。)
出願書類等提出票	所定様式(A4判用紙に片面印刷し、提出してください。)

(別表) 志望専攻分野に関する卒業論文がない場合に、提出が必要な小論文のテーマ等は、次のとおりです。

専攻	専攻分野	テーマ	分量
日 本 学	現代日本学	これまでの研究経過と今後の研究計画	4,000 字程度
	日本思想史	これまでの研究経過と今後の研究計画	4,000 字程度
	日本語学	これまでの研究経過と今後の研究計画	8,000 字程度
	日本語教育学	これまでの研究経過と今後の研究計画	4,000 字程度
	日本文学	これまでの研究内容と今後の研究計画	12,000 字程度
	日本史	日本史に関する分析と論証を備えた小論文	12,000 字程度
	考古学	これまでの研究経過と今後の研究計画	8,000 字程度
	文化財科学	これまでの研究経過と今後の研究計画	8,000 字程度
広 域 文 化 学	文化人類学	大学院における研究計画	4,000 字程度
	宗教学	これまでの研究経過と今後の研究計画	4,000 字程度
	死生学・実践宗教学	これまでの研究経過と今後の研究計画	4,000 字程度
	インド学仏教史	志望理由, 研究目的, 研究計画を含む内容	6,000 字を目安としますが、多くても構いません。
	中国語学中国文学	これまでの研究経過と今後の研究計画	4,000 字程度
	中国思想中国哲学	これまでの研究経過と今後の研究計画	4,000 字程度
	東洋史	これまでの研究経過と今後の研究計画	12,000 字程度
	英文学	これまでの研究経過と今後の研究計画	4,000 字程度
	英語学	これまでの研究経過と今後の研究計画	4,000 字程度
	ドイツ語学ドイツ文学	これまでの研究経過と今後の研究計画	4,000 字程度
	フランス語学フランス文学	これまでの研究経過と今後の研究計画	4,000 字程度
	西洋史	これまでの研究経過と今後の研究計画	8,000 字～12,000 字
総 合 人 間 学	哲学	哲学専攻分野に関する各人の研究テーマ	8,000 字～12,000 字程度
	倫理学	倫理学専攻分野に関する各人の研究テーマ	8,000 字～12,000 字程度
	東洋・日本美術史	東洋・日本美術史専攻分野に関する各人の研究テーマ	12,000 字程度
	美学・西洋美術史	美学・西洋美術史専攻分野に関する各人の研究テーマ	8,000 字～12,000 字程度
	心理学	これまでの研究経過と今後の研究計画	4,000 字以上
	言語学	これまでの研究経過と今後の研究計画	4,000 字程度
	社会学	これまでの研究経過と今後の研究計画	4,000 字以上
	行動科学	これまでの研究経過と今後の研究計画	2,000 字程度
	計算人文社会学	これまでの研究経過と今後の研究計画	2,000 字程度

4 選抜方法等

入学者の選抜は、提出書類及び学力試験の結果を総合して行います。

(1) 学力試験の日程

期 日	試 験 科 目	時 間
2023 年1月 25 日(水)	専門科目Ⅰ	13 : 00 ～ 15 : 00
	専門科目Ⅱ	16 : 10 ～ 17 : 50
2023 年1月 26 日(木)	外国語試験	9 : 30 ～ 11 : 30
	面接試験	13 : 00 ～

【注意】・専門科目Ⅰ，外国語試験及び面接試験については、すべての専攻分野について実施します。

(2) 学力試験の試験科目

専門科目Ⅱについては、実施しない専攻分野があります。

試験の詳細については下表を参照してください。

【注意】

・専門科目Ⅰ，専門科目Ⅱ，及び外国語試験での辞書の持ち込みは、認めません。(ただし、以下において特別に「辞書持ち込み可」とされている場合を除く。)

・辞書持ち込み可の場合でも、電子辞書等の持ち込みは認めません。(持ち込み可能な辞書かどうかは試験監督が判断します。)

専攻	専攻分野	1日目		2日目	
		専門科目Ⅰ	専門科目Ⅱ	外国語試験	面接試験
日 本 学	現代日本学	実施する	実施しない	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語のうちから一つを選択(母語を選択することはできません。)	実施する
	日本思想史	実施する。史料の読解を含む。	実施しない	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語のうちから一つを選択(母語を選択することはできません。)	実施する
	日本語学	実施する	古文解釈	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語のうちから一つを選択(母語を選択することはできません。日本語を母語としない受験者は、外国語試験で日本語を選択してください。)	実施する
	日本語教育学	実施する。英文読解問題を含む。	実施しない	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語のうちから一つを選択(母語を選択することはできません。日本語を母語としない受験者は、外国語試験で日本語を選択してください。)	実施する
	日本文学	実施する	本文の解釈，読解	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語のうちから一つを選択(母語を選択することはできません。)	実施する
	日本史	実施する	史料の読解	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語のうちから一つを選択(母語を選択することはできません。)	実施する
	考古学	実施する	資料の読解	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語のうちから一つを選択(母語を選択することはできません。)	実施する

日本学	文化財科学	実施する	資料の読解	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語のうちから一つを選択 (母語を選択することはできません。)	実施する
広域文化学	文化人類学	実施する	専門外国語(英語)	英語	実施する
	宗教学	実施する	専門外国語(英語) (英語を母語とする受験者については、専門外国語は日本語を出題します。)	英語・ドイツ語・フランス語・日本語のうちから一つを選択 (母語を選択することはできません。)	実施する
	死生学・実践宗教学	実施する	専門外国語(英語) (英語を母語とする受験者については、専門外国語は日本語を出題します。)	英語・ドイツ語・フランス語・日本語のうちから一つを選択 (母語を選択することはできません。)	実施する
	インド学仏教史	実施する	①サンスクリット語または②チベット語の文献読解。なお①の場合は任意の「梵英辞典」一冊を、②の場合は同「蔵英辞典」一冊を、それぞれ持ち込み可。	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語のうちから一つを選択 (母語を選択することはできません。)	実施する
	中国語学 中国文学	実施する	実施しない	中国語	実施する
	中国思想 中国哲学	実施する。現代中国語または日本語の読解問題を出題する場合もある。	実施しない	中国語・英語のいずれか一つを選択	実施する
	東洋史	実施する	英語・中国語のうち外国語試験で選択しなかった語学を一つ選択(母語を選択することはできません。) (辞書持ち込み可。)	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語のうちから一つを選択 (母語を選択することはできません。)	実施する
	英文学	実施する	実施しない	英語	実施する
	英語学	実施する	実施しない	英語	実施する
	ドイツ語学 ドイツ文学	実施する	実施しない	ドイツ語	実施する
	フランス語学 フランス文学	実施する	実施しない	フランス語	実施する
	西洋史	実施する	英語・ドイツ語・フランス語のうち外国語試験で選択しなかった語学を一つ選択	英語・ドイツ語・フランス語のうちから一つを選択	実施する
総合人間学	哲学	実施する	英語・ドイツ語・フランス語・ギリシア語・ラテン語のうち一つを選択(二日目の外国語試験と同一言語でも構わないが、研究テーマに関わりの深い言語がある場合はそれを選択)	英語・ドイツ語・フランス語・日本語のうちから一つを選択 (母語を選択することはできません。)	実施する
	倫理学	実施する	英語・ドイツ語・フランス語のうち一つを選択(二日目の外国語試験と同一言語でも構わないが、研究テーマに関わりの深い言語がある場合はそれを選択)	英語・ドイツ語・フランス語・日本語のうちから一つを選択 (母語を選択することはできません。)	実施する

総合人間学	東洋・日本美術史	実施する。史料の読解を含む。史料の読解の際に辞書(漢和辞典)の使用可。	実施しない	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語のうちから一つを選択(母語を選択することはできません。)	実施する
	美学・西洋美術史	実施する	英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語のうち外国語試験で選択しなかった語学の一つを選択(母語を選択することはできません。)	英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・日本語のうちから一つを選択(母語を選択することはできません。)	実施する
	心理学	実施する	専門外国語(英語) (英語を母語とする受験者については、専門外国語は日本語を出題します。)	英語・ドイツ語・フランス語・日本語のうちから一つを選択(母語を選択することはできません。)	実施する
	言語学	実施する。英文読解問題を含む。	実施しない	英語・ドイツ語・フランス語・日本語のうちから一つを選択(母語を選択することはできません。)	実施する
	社会学	実施する	専門外国語(英語・ドイツ語のうちから一つを選択) (辞書持ち込み可。ただし、英語を選択する場合は辞書持ち込み不可。)	英語・ドイツ語・フランス語・日本語のうちから一つを選択(母語を選択することはできません。)	実施する
	行動科学	実施する	専門外国語(英語) (英語を母語とする受験者については、専門外国語は日本語を出題します。)	英語・ドイツ語・フランス語・日本語のうちから一つを選択(母語を選択することはできません。)	実施する
	計算人文社会学	実施する	専門外国語(英語) (英語を母語とする受験者については、専門外国語は日本語を出題します。)	英語・ドイツ語・フランス語・日本語のうちから一つを選択(母語を選択することはできません。)	実施する

(3) 試験場

東北大学文学部・文学研究科 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27 番 1 号

なお、試験場の詳細は試験当日配付する試験案内を参照してください。

5 合格者の発表

2023 年2月 10 日(金)午前 10 時(予定)に文学部・文学研究科ウェブサイト(アドレスは以下のとおり)に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には、本人あてに「合格通知書」を送付します。

(<https://www.sal.tohoku.ac.jp/>)

※不合格の場合は、通知書の送付は行いませんので、ご了承ください。

電話等による入学試験結果の問い合わせには応じられません。

6 入学時期

入学の期日は、2023 年4月1日付けとします。

7 入学手続

(1) 手続期間、書類等

入学手続に関する書類等は、2023 年3月上旬に送付します。

(入学手続期間は、2023 年3月9日(木)から3月 10 日(金)までの予定)

(2) 入学料及び授業料

① 入学料 282,000 円(予定額)

② 授業料 前期分 267,900 円(年額 535,800 円)(予定額)

注1 上記の納付金額は予定額であり、納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用となります。

注2 入学料及び授業料の免除、徴収猶予に関しては、合格発表後に送付する入学手続に関する書類で通知します。

8 長期履修学生制度の適用

本研究科では、職業を有している等の事情(注1)によって、標準修業年限である2年を越えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了(注2)することを願い出た者については、審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といいます。長期履修学生として許可された場合の当該学生の授業料支払総額は、標準修業年限による修了者と同じです。

この制度に関する照会は随時受け付けますが、適用申請方法等については、合格発表後に送付する入学手続に関する書類をご覧ください。

注1 該当者は①企業等の常勤の職員及び自ら事業を行っている者、②出産、育児、介護等を行う必要のある者、③その他、本研究科が適当と認める者です。

注2 在学年限は4年を超えることができません。ただし、許可された在学年限の短縮を願い出ることができます。なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意することはありません。

9 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っていますので、該当者は、次の事項を記載した申出書(様式任意)を文学部・文学研究科教務係まで提出してください。

なお、申出書の提出を理由として、合否判定の際に不利に扱われることはありません。

(1) 相談の期限：原則として2022年12月9日(金)まで

(2) 申出書に記載する内容

- ① 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号
- ② 出身大学等名
- ③ 受験上の配慮を希望する事項
- ④ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑤ これまで認められたことのある配慮の内容
- ⑥ 日常生活の状況
- ⑦ その他参考となる資料(現に治療中の方は、医師の診断書を添付してください。)

10 注意事項

(1) 提出された出願書類は、返還できません。

(2) 出願書類に不備がある場合は、受け付けません。

(3) 受付後の出願取下げ及び出願書類の記載内容の変更はできません。

(4) 提出された出願書類に記載された個人情報については、次のとおり取り扱います。

- ・ 本研究科が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- ・ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、追跡調査、入学後の学生支援関係(奨学金、授業料免除及び健康管理等)及び修学指導等の教育目的並びに授業料徴収等の関係に利用します。

- ・ 出願した方は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

(5) 募集に関する照会先は次のとおりです。

東北大学文学部・文学研究科教務係 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27 番 1 号

Tel:022-795-6004 / 6005 Mail:art-kyom@grp.tohoku.ac.jp

(6) 試験当日に、学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症(インフルエンザ, 麻疹, 新型コロナウイルス感染症等)にかかり治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験を認めません。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた者は、この限りではありません。

なお、本学では上記理由による追試験は行いません。

11 入学試験の成績開示について

成績開示は、不合格になった者に対してのみ行います。

成績開示を希望する方は、2023 年2月 10 日(金)から2月 17 日(金)までに東北大学文学部・文学研究科教務係に問い合わせてください。(土日を除きます。)

大学院入学試験過去問題について

入学試験の過去問題は、専門科目Ⅰ、外国語試験について、随時(ただし、業務上支障のある場合を除く)ウェブサイトにて、過去3年分を以下のアドレスより閲覧することができます。

<https://www.sai.tohoku.ac.jp/jp/admissions/grad/>

専門科目Ⅱの過去問題の閲覧に関しては、当該専攻分野に直接照会して下さい。

風水害等の災害により被災した東北大学入学志願者等の 令和4年度(2022年度)における入学検定料の免除について

東北大学では、令和4年度(2022年度)に日本国内で発生した風水害等の災害による被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、令和4年度(2022年度)に実施する学部及び大学院入試等において、次のとおり入学検定料免除の特別措置を講じます。

【免除対象】

1. 令和4年度(2022年度)に日本国内で発生した風水害等の災害
※平成31年度まで免除対象としておりました「東日本大震災」は対象外といたします。
※免除対象となる災害救助法適用地域の最新情報については、
下記の内閣府「防災情報のページ」で確認してください。
https://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo_tekiyou.html

1. 免除対象となる入学試験等

令和4年度(2022年度)に出願する本学の学部又は大学院の研究科の入学試験(編入学, 転入学, 再入学含む)

2. 対象者

免除対象となる入学試験の志願者で、日本国内で発生した風水害等の災害により被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 本人または学資負担者が、災害救助法適用地域において被災し、家屋等の全壊、大規模半壊、半壊、流失のり災証明が得られる方 (一部損壊は該当しません。)
- (2) 学資負担者が災害により死亡または行方不明の方

3. 申請の方法

上記に該当する方は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。
なお、この申請を行う場合は、出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。
申請に当たり問い合わせる場合は、下記問い合わせ先に電話連絡してください。

4. 申請書類

- (1) 「入学検定料免除申請書」(本学ウェブサイトからダウンロード)
- (2) 「り災証明書等(写し可)」(上記2の(1)に該当する方)
- (3) 「死亡を証明する書類(写し可)」(上記2の(2)に該当する方)

5. 許可または不許可の通知について

- (1) 許可者には、受験票の送付をもって、許可の通知に代えることとします。
- (2) 不許可者には、別途連絡しますので、直ちに入学検定料を指定の方法で払い込んでください。納入等が確認された後、受験票を送付します。

入学検定料の免除に関する問合せ先

【大学院入試】

・文学研究科 (795-6004)

大学使用欄	
受験記号番号	

入学検定料免除申請書

令和 年 月 日

東北大学総長 殿

入学時期 令和 年 月 入学

選抜の種類 _____

志願学部・研究科専攻名（医学部志願者は学科・専攻名まで）

_____ 学部 _____ 学科 _____ 専攻

_____ 研究科 _____ 専攻

志願者氏名 _____ ㊤

住所 〒 _____

連絡先 TEL _____

入学後の学資負担者氏名 _____ ㊤

住所 〒 _____ （続柄 _____）

連絡先 TEL _____

令和 年 月 日に発生した _____ において、下記のとおり被災しましたので、り災証明書等を添付のうえ、入学検定料の免除を申請します。

記

被災状況 （該当箇所にチェックしてください。）

- ☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 流失
☐ 学資負担者死亡または行方不明

*り災証明書の申請者氏名が学資負担者以外の場合は、志願者との関係を下記に記入してください。

り災証明書の申請者氏名： _____ （続柄） _____

各研究室への事前の問い合わせについて

各研究室では、志願者の事前の問い合わせを受け付けます。各研究室のウェブサイトは以下のとおりです。

〔日本文学専攻〕

現代日本文学	https://w3.tohoku.ac.jp/ijis/
日本思想史	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/shisoshi/index.html
日本語学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/kokugogaku/index.html
日本語教育学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/nik/
日本文学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/kokubungaku/index.html
日本史	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/index.html
考古学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/archa/home.htm
文化財科学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/archa/bunkazai.htm

〔広域文化学専攻〕

文化人類学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/anthropology/index.html
宗教学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/religion/index.html
死生学・実践宗教学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/shiseigaku/
インド学仏教史	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/indology/
中国語学中国文学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/zhongwen/index.html
中国思想中国哲学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/chph/index.html
東洋史	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/toyoshi/
英文学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/englit/
英語学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/eng/index.htm
ドイツ語学ドイツ文学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/de/index.html
フランス語学フランス文学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/French/index.html
西洋史	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/europe/

〔総合人間学専攻〕

哲学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/philosophy/index-j.html
倫理学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/philosophy/index-j.html
東洋・日本美術史	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/art/
美学・西洋美術史	http://www.estetica.sal.tohoku.ac.jp
心理学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/psychology/index-j.html
言語学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/ling/index.html
社会学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/soc/index.html
行動科学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/behavsci/index.html
計算人文社会学	https://www2.sal.tohoku.ac.jp/behavsci/index.html

〈教員一覧及び研究テーマ〉

※を付した教員は2023年3月末退職予定。
◇を付した教員はクロスアポイントメント教員。

専攻	専 攻 分 野	職 名 氏 名	現在の研究テーマ
日 本 学	現代日本学	※ 教 授 高橋 章則 教 授 田中 重人 准教授 茂木 謙之介 准教授 クレイグ クリストファー	文芸社会史。日本近世思想史。文化交流史。 家族社会学。社会調査法。ジェンダーとライフコースの計量的研究。 表象文化論。メディア史。天皇・皇室の表象研究。怪異・怪談の表象研究。 日本近代史。宮城県史。農業・農村史。
	日本思想史	教 授 片岡 龍 准教授 引野 亨輔	近世儒学思想。朝鮮儒学と日本。東アジアの実学。 日本近世仏教文化史。寺院蔵書からみる書物知の歴史の変遷研究。
	日本語学	※ 教 授 小林 隆 教 授 大木 一夫 教 授 甲田 直美	日本語方言学。文献・方言総合的方法による日本語史。 日本語史。日本語文法史。日本語文法論。 現代語の文法論。特に談話・テキスト論。
	日本語教育学	教 授 小河原 義朗 准教授 島崎 薫	日本語教育方法論。音声言語コミュニケーション。言語習得。教師教育。 日本語教育学。留学生教育。学習環境デザイン。多文化教育。
	日本文学	教 授 佐倉 由泰 教 授 横溝 博 准教授 仁平 政人	軍記文学。和化漢文表現史。中世文学。 平安文学。物語と日記。古注釈の展開。 近現代文学。比較文学。モダニズム文学の研究。
	日本史	教 授 柳原 敏昭 教 授 安達 宏昭 教 授 堀 裕 准教授 籠橋 俊光	日本中世史。国家周縁部の比較研究。史学史。 日本近現代史。日本・アジア関係史。昭和政治経済史。 日本古代史。東アジアのなかの日本史、宗教史、天皇の歴史、東北古代史。 日本近世史。藩領における地域社会史研究。
	考古学	教 授 鹿又 喜隆 (併)教授 藤澤 敦 (併)教授 佐野 勝宏	日本考古学。 日本考古学。 先史考古学。実験考古学。
	文化財科学 (連携分野)	客員教授 高橋 栄一 客員教授 須賀 正美 客員准教授 白崎 恵介	多賀城跡の研究。 宮城県の文化財。 多賀城跡の研究。
広 域 文 化 学	文化人類学	教 授 沼崎 一郎	東アジアの経済と社会（台湾・香港を中心として）。現代世界の文化と人権（日本を中心として）。公共人類学（異文化共生）。災害人類学。ジェンダー（主に男性性）。初期アメリカ人類学学説史。
	宗教学	教 授 川口 幸大 准教授 越智 郁乃	中国と日本を中心とした東アジアの家族親族、宗教、移動、食。 現代日本の都市化と人口移動に伴う墓制・祖先祭祀の変容。観光による地域内外の人々の交渉と地域振興。
		教 授 木村 敏明	宗教人類学。災害と宗教。民間信仰（年中行事・人生儀礼・祭礼）の変化。インドネシア研究。
		教 授 谷山 洋三	臨床死生学（スピリチュアルケア、宗教的ケア、グリーフケア）、仏教福祉学。
		准教授 問芝 志保	宗教社会学、日本近代宗教史、先祖祭祀と葬送墓制、現代宗教論。
	死生学・実践宗教学	教 授 高橋 原	宗教心理学、日本宗教学史、近代日本の知識人宗教。
	インド学仏教史	教 授 桜井 宗信 准教授 西村 直子	インド・チベット密教の儀礼と思想。インド・チベット仏教流伝史。 インド学。ヴェーダの文献、言語、祭式。仏教へと至る思想、社会、生活の変化。
	中国語学中国文学	教 授 矢田 尚子 教 授 土屋 育子 准教授 張 佩茹	中国古典文学。先秦兩漢文学研究。唐代女性服飾研究。 中国文学。小説・戯曲研究。元明清文学研究。 現代中国語の文法論（特に動詞の文法化）。
	中国思想中国哲学	※ 教 授 三浦 秀一 教 授 齋藤 智寛	中国近世思想。儒仏道三教交渉史。明代の諸子学と出版。科举。 中国中世思想。中国6～7世紀宗教思想文化史。中国中世の士大夫と仏教。
	東洋史	※ 教 授 川合 安 教 授 大野 晃嗣	中国魏晉南北朝、隋唐史。 明清官僚制度史。
	英文学	教 授 大河内 昌 准教授 大貫 隆史 准教授 ティンク ジェイムズ	イギリス18世紀思想史。イギリス・ロマン主義文学。 20世紀イギリス文化・文学。演劇理論。 初期近代イギリス文学。批評理論。
	英語学	教 授 島 越郎 准教授 中村 太一	生成文法理論に基づく英語分析。 理論言語学。英語統語論と意味論のインターフェイス。
	ドイツ語学ドイツ文学	教 授 嶋崎 啓 教 授 ナロック ハイコ	ドイツ語学。ドイツ語史。対照言語学。中世ドイツ文学。 言語学。言語変化。言語類型論。

広域文化学	フランス語学フランス文学	教 授 阿部 宏 教 授 今井 勉 教 授 メヴェル ヤン 准教授 黒岩 卓 教 授 有光 秀行 准教授 浅岡 善治 (併)教授 寺山 恭輔	フランス語学。仏英日対照言語学。ソーシャル文献学。認知意味論。言語学史。記号学。 フランス文学。ヴァレリー研究。フランス象徴詩。生成論。クレオール文化論。 ベケット。デュラス。小説。演劇。詩学。思想史。芸術史。精神分析。フランス文学における日本の表象。 中世・ルネサンス文学・文献学・演劇。フランス語史。 西洋中世史（ブリテン諸島を中心に）。 西洋近現代史（ロシア革命史）。 ロシア・ソ連史。
	西洋史		
総合人間学	哲学	教 授 直江 清隆 教 授 荻原 理 准教授 原 塑 准教授 城戸 淳	近現代哲学。科学技術倫理学。 古代哲学。現代分析倫理学。 現代英米哲学・科学哲学・倫理学（特に神経科学）。 近代哲学、カントを中心とするドイツ哲学。
	倫理学	教 授 戸島 貴代志	現代ドイツ・フランスの哲学・倫理学。生の哲学。実存哲学。
	東洋・日本美術史	教 授 村山 達也	近現代フランス哲学・倫理学。
	美学・西洋美術史	教 授 長岡 龍作	中国・日本仏教彫刻史。
	心理学	准教授 杉本 欣久 教 授 足達 薫 教 授 阿部 恒之	日本近世絵画史。
			イタリア美術史。
			生理心理学（ストレス）。感情心理学（化粧・災害）。知覚心理学（顔・香り）。
		教 授 坂井 信之	応用心理学。食行動学（健康・学習・共食）。認知神経科学（味覚・嗅覚・おいしさ・心地よさ）。
		教 授 辻本 昌弘 准教授 荒井 崇史 准教授 河地 庸介	社会心理学。地域研究。移民の社会と文化。抵抗論。生活史。
			社会心理学。犯罪心理学。犯罪予防。攻撃性と暴力。態度変容。説得。
実践宗教学寄附講座	言語学	◇ 教 授 大森 美香 (お茶の水女子大学) 教 授 小泉 政利 准教授 内藤 真帆 准教授 木山 幸子	知覚・認知心理学（主として視覚）。心理物理学。感性の心理学。脳機能・構造計測。 健康心理学（健康関連行動、ストレス、身体像、社会文化的要因）。感情心理学（感情能力）。 理論言語学。言語認知脳科学。 記述言語学。フィールド言語学。 実験語用論。神経言語学。
	社会学	教 授 永井 彰	現代社会学理論（ハーバーマスを中心として）。農村地域社会の変動過程。地域福祉の社会学。
			社会システム論。災害リスクの理論的研究。地域社会学。
	行動科学	准教授 田代 志門 教 授 木村 邦博 教 授 浜田 宏 准教授 小川 和孝	医療社会学。生命倫理学。死と死にゆくこと。質的研究法。
			階層意識の計量分析。社会的意思決定の数理分析。社会調査法。
			数理社会学。不平等と相対的剥奪の研究。ベイズモデリング。
			教育社会学・社会階層論。学歴・地位達成の不平等や政策選好の研究。
		◇※ 教 授 佐藤 嘉倫 (京都先端科学大学)	社会変動論。信頼の研究。社会階層論。ゲーム理論の応用。
	計算人文社会学	兼担 教 授 浜田 宏	数理社会学。不平等と相対的剥奪の研究。ベイズモデリング。
実践宗教学寄附講座		顧 問 鈴木 岩弓 准教授 大村 哲夫	宗教民俗学。死生学。民間信仰の形成過程。現代日本の祖先祭祀。 宗教心理学、臨床死生学、災害人文学、グァテマラの宗教と文化、臨床宗教師の養成。

東北大学大学院文学研究科施設配置図

